

この研究は緩和ケアの成果、ケアの質の向上を検討し、看護介入の妥当性や必要性を評価することを目的としています。緩和ケアスクリーニングを使用しての看護ケアの有効性はすでに明らかにされていますが、急性期病院での有効性に関する文献は少ないため、今回調査し明らかにしたいと考えます。研究の成果は、苦痛緩和にかかる看護の質を向上させる一助となり多くの患者さんの療養生活に貢献できる可能性が高いと考え、今後、この結果を当院の緩和ケアの質の向上に役立てていきたいと思っています。

【研究の対象・期間・内容】

小倉記念病院に於いて、2017年8月から2017年12月の間に呼吸器科で1週間以上入院した患者さんを対象としています。事例ごとに疼痛、その他の症状、患者・家族の不安、患者・家族・医療者間のコミュニケーションなどを数値化します。通常の診療の範囲内で得られた情報を研究対象とするので、患者さんに日常診療以外の負担が生じることはありません。

対象者となることを希望されない方は、下記連絡先へご連絡下さい。



【個人情報の管理について】

個人情報漏洩を防ぐために、個人を特定できる情報を削除し、データの数値化、データファイルの暗号化など厳格な対策をとり、第3者が個人情報を閲覧できないようにしております。また、本研究の公表(学会や論文等)の際には、個人が特定できる情報は一切含まれません

【利益相反について】

この研究を行うにあたり、特定の企業の支援を受けたり、費用が発生することはありません。

【連絡・問い合わせ先】

小倉記念病院 クオリティ・マネジメント科

担当者 餘永 真奈美

〒802-8555 北九州市小倉北区浅野 3-2-1

TEL.093-511.2000(代)

